

～同推だより～

出 会 い

【編集】

散岐地区同和教育推進協議会

【発行日】

令和8（2026）年9月25日

《第37号》



小地域座談会へご参加ください



散岐地区同和教育推進協議会
会長 野際 章人

今年も各集落で小地域座談会を11月頃、実施するよう準備しています。

10月8日（木）19時より散岐地区公民館で部落長さん、部落の委員さん、対話者の方々、同推協の役員で打合せを行い、11月に各部落で小地域座談会を予定しています。

扱うテーマは、同和問題で部落の心を伝えたいシリーズ第35巻「私は部落から逃げてきた」のDVDを視聴して、みなさまと理解を深めていきたいと思います。

是非、ご参加ください。

DVD「私は部落から逃げてきた」を紹介いたします。水平社宣言から100年の2022年、九州の西日本新聞社の連載記事が大きな反響を呼びました。担当した当時28歳の記者、西田昌也さんはカミングアウトした上で家族や友人知人へ取材し、部落問題の現実について様々な角度から詳細に記事を連載しました。今もその体験をもとに講演活動をされています。

小地域座談会を継続して毎年開催し、散岐地域みなさまの人権尊重の輪を広げ、すみよい地域づくり村づくりを目指します。

みなさまのご参加をお待ちしています。

令和8年度 散岐地区同和教育推進協議会役員・評議員名簿 ●

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
会 長	野際 章人	評議員	田淵 隆一	評議員	山本 光文	評議員	西尾 豪
副会長	中村 晃	//	山田 和志	//	中村 愛治	//	下田 貞幸
//	前田 和美	//	前田 厚彦	//	平尾 晋	監 事	前田 宗弘
推進員	坂根 和夫	//	福谷 宣温	//	中村 佳紀	//	平尾 美好
//	前田 武志	//	門脇 智子	//	前田 一	幹 事	森下奈都子
		//	前田 大輔	//	金谷 拓永		（22名）

人権福祉センターの役割とは？

散岐地区同和教育推進協議会

副会長 中村 晃

私は今、八坂（倉田地区）にある「鳥取市南人権福祉センター」に勤めています。

鳥取市内には、旧市域に5ヶ所、新市域に河原人権福祉センターを含めて5ヶ所の計10の人権福祉センターがあります。この施設は、隣保館と称していた特に同和対策等の特措法時代には、対象地域住民を中心とした隣保事業が実施されていましたが、一般対策化に移行されたことに伴い、社会福祉法に規定された第二種社会福祉施設として、地域全体の福祉を推進する施設として生まれ変わっています。

事業は大きく3つに分類されており、相談業務、啓発・広報業務、人権講演会などの「基本事業」。子育て支援、介護予防・健康づくり教室、スポーツレクリエーションなどの「地域福祉事業」。陶芸・園芸・創作教室、人権と福祉のまちづくり講座などの「地域交流事業」です。これらの事業を推進するためには、共に生き相互に支えあうことができる地域、地域を共に創っていく社会、「地域共生社会の実現」をめざし、地域の皆さんを包括的に支援する体制づくりが構築できるよう努めています。

相談業務の取り組みでは、時として生活困窮問題をはじめ、福祉、就労、教育、住宅等の分野にわたりますが、相談支援の窓口である人権福祉センターは、「生活をしていく上で困難を抱えることは人権問題である」と捉え、問題を抱える人が自立に至るまで、関係機関と連携しながら総合的・包括的な支援を行うことが重要です。

また、市民の人権尊重意識の高揚を図るための、啓発・交流センター的機能と、人権学習・情報発信的機能も持ち合わせる拠点施設として、その役割も担わなくてはなりません。

一方、地域に根ざした社会福祉活動は、地域の要援護者支援活動です。この活動には要援護者の「自立と社会的参加・統合」という目標があり、人権福祉センターは地域のコミュニティセンターとしての役割も担っていくべきものと考えています。

～ 編集後記 ～

今年の夏は、ここ数年続く酷暑に比べると涼しい日もありましたが、地球温暖化の影響なのか、全国では局地的豪雨などによる激甚的被害が多発しています。近くの避難場所や状況に応じた避難行動など、防災のことについて地域のみなさんと情報共有することが大事だと改めて気づかされました。（T.M）